

継続案件となっている財源活用アイデアについて

1. 市民等から問合せや要望があった事業

事業名	無料給水スポットの設置
目的・効果	水道水の無料給水スポットを設置し、マイボトル持参を推奨することでペットボトルの消費削減を図るとともに、飲料水の輸送に伴う温室効果ガスの削減を図る。 無料給水スポットの設置は、熱中症予防等の健康増進効果も期待されることから、政策統合の取り組みとして期待される。
事業の概要	公共施設等へマイボトルへの給水が可能な給水器を設置する。
想定される経費	200万円程度／基（本体価格+設置工事）※機能や設置場所により大きく変動します。レンタルも可能。
先進地事例	京都市、亀岡市、生駒市
調査結果	京都市では、主に観光施設や寺社仏閣に設置。ウォータースタンド社と協定を締結し実施。 令和2年度登録件数は、38施設、46か所。
事務局による検討内容	先進地事例を更に研究しながら、維持管理体制の構築や費用を勘案したうえで、今後更なる検討が必要である。
現在の状況	京都市は、ウォータースタンド株式会社と令和2年1月に「マイボトル等で利用できる給水スポットの拡大に関する連携協定」の締結を行い、概ね3年間で1,000台の設置を目標に取組を推進。 亀岡市は、市内の飲食店・民間施設等と連携し、市ホームページやリーフレット等で紹介することにより、取り組みを推進。 木津川市では、木津川市こどもエコクラブサポーターの会が、全国で給水スポット推進活動を行っている「Refill Japan」に協力する形で、市内飲食店や事業所等に呼びかけ、取組を推進されています。現在、市内で14の飲食店・事業所が協力されています。